



12月定例記者会見

発表項目



- ・ 1月18日「118番の日」の118周知活動について
～ 水族園の大水槽の中で当庁潜水士が訓練～
- ・ 「ひょうご安全の日のつどい」への参加について
- ・ 有害危険物質事故対応実務者研修
～ 五管区内の35メートル型巡視艇(消防型)3隻が神戸に集結～
- ・ 明石海峡における通航船舶隻数過去5年で最多
～ 平成25年度明石海峡船舶通航実態調査結果(速報値)～
- ・ 第五管区の訪ねたい&訪ねて欲しい灯台トップ10



1月18日「118番の日」の118番周知活動について 神戸市立須磨海浜水族園でイベント実施 ～水族園の大水槽の中で当庁潜水士が訓練～



実施日
実施場所
主な実施内容

平成26年1月18日(土)、19日(日)

神戸市立須磨海浜水族園 本館1階 エントランスホール

職員や「うみまる」、「うーみん」、水族園のペンギンによる118番の周知

巡視艇「はるなみ」潜水士が大水槽を使って公開潜水訓練

業務紹介パネルの展示、制服の試着

海上保安官と一緒にロープの結び方を学ぶロープワーク体験



「ひょうご安全の日のつどい」への参加について

第五管区海上保安本部では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく、安全・安心な社会づくりを推進するため、ひょうご安全の日推進県民会議(会長:兵庫県知事)が主催する「ひょうご安全の日のつどい」に参画し、ブース展示、防災訓練等を実施します。

1 実施年月日

平成26年1月17日(金)

2 実施場所

神戸市中央区脇浜海岸通1丁目 HAT神戸周辺

3 実施概要

(1) 第五管区海上保安本部ブース展示【10:30頃～15:00頃の間】

海上保安業務パネル、震災時における海上保安庁活動パネル及び津波防災情報図の展示ブースを設け、防災啓発等を行います。また海上保安庁の制服試着及び業務紹介のパンフレットを配布し、海上保安業務の周知活動を行います。

(2) 防災訓練【13:00頃～14:00頃の間】

防災意識の普及・向上を目的として、兵庫県及び関係機関と神戸海上保安部が連携し次のとおり訓練を実施します。

海上広報訓練

巡視艇により電光掲示板、拡声器等を使用して津波警報等の情報を船舶や沿岸付近にいる人に対し広報します。

負傷者等搬送訓練

巡視艇により、負傷した被災者を想定被災地から応急救護所付近岸壁まで搬送し、岸壁で待機するボランティア等に引継ぎます。

海上消火訓練

巡視艇及び消防艇(神戸市消防局所属)により海上における消火放水訓練を実施します。

(3) 巡視艇一般公開【14:00頃～15:00頃の間】

訓練終了後、神戸海上保安部巡視艇ふどうの一般公開を実施します。

【平成24年度実施状況】

展示ブースの状況



一般公開の状況



海上広報訓練の状況



負傷者等搬送訓練の状況



ロープワーク教室の状況



有害危険物質事故対応実務者研修

～ 五管区内の35メートル型巡視艇(消防型)3隻が神戸に集結～

第五管区海上保安本部では、平成26年1月21日(火)～23日(木)の3日間、

35メートル型巡視艇(消防型) ふどう(神戸海上保安部所属)

同

みのお(堺海上保安署所属)

同

ぬのびき(姫路海上保安部所属)

の3隻を神戸に集め、有害危険物質事故対応実務者研修を実施します。

この3隻の巡視艇は他の巡視艇に比べ、大幅に消防機能が強化された巡視艇であり、通常の警備救難業務に加え、有害危険物質の流出事故において主体的に対応していくことになるため、専門的な知識技能が必要となります。

このため、更なる知識技能向上のため、横浜機動防除基地の機動防除隊を講師とした研修を実施するものです。

今回参加予定の3隻の内、巡視艇ふどう、みのおについては、平成24年度末に就役した最新鋭の35メートル型巡視艇(消防型)です。(写真は神戸海上保安部巡視艇ふどう)



～ 35メートル型巡視艇(消防型)の主な消防機能～

放水銃: 6000リットル/m × 1、4400リットル/m × 2、2000リットル/m × 1

粉末消火剤: 2,000kg

泡消火剤: 13,400リットル

放水伸縮筒装置: 最大海面高17m

船体防爆構造、自衛噴霧装置、外気遮断装置 等

1月23日(木)総合演習の一部を取材していただけるよう、計画中です。

詳細につきましては、別途お知らせいたします。

【有害危険物質とは】

本研修においては、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律に定める「有害液体物資」(約700物質)のうち、引火性や人体への毒性を有する物質(キシレン、ベンゼン、スチレン等)や、「危険物」である原油、ガソリン等の引火性の高い油を対象としています。

【有害危険物質事故対応の難しさ】

有害危険物質は、その種類が多く、その性状や危険の程度も物質によって異なり、また、複数の物質が流出した場合、複合による危険性も考慮する必要があることから、専門的な知識と資機材が必要となります。

ひとたび流出事故等が発生した場合には、第三者への二次被害の発生防止及び防除作業に従事する者の安全確保等、人命の安全を第一として対応し、可能な限り海洋環境や社会・経済活動への影響若しくは被害を防止ないしは極小化することを基本としつつ、場面ごとに危険性を評価し取り得る方策等を検討・確認しながら対応していく必要があるところが、他の事故対応とは異なるところです。

主な有害危険物質事故事例



昭和61年7月14日午後9時48分頃、来島海峡航路西口付近の瀬戸内海において、ケミカルタンカー「三典丸」(199トン、アクリロニトリル480k)積載、5名乗組み)とカーフェリー「おくどうご6」(6378トン、乗客353名)が衝突、「三典丸」右舷中央部付近に「おくどうご6」の船首部が、ほぼ直角に食い込み、「三典丸」の2番タンクからアクリロニトリル約200k)が海上に流出したもの。

「三典丸」乗組員にあっては、事故発生から約12分後に「おくどうご6」乗員によりゴムボートにて救助、「おくどうご6」乗客については、事故発生から約3時間40分後に巡視船等により全員救助された。



平成17年7月15日午前4時頃、海上濃霧警報が発令されていた三重県熊野市沖約20kmの海上において、タンカー旭洋丸(697トン、乗組員7名)とケミカルタンカー日光丸(499トン、乗組員5名)が衝突し、旭洋丸船体の破口から、積荷の粗製ベンゼン及び燃料が流出し、火災が発生し、旭洋丸乗組員6名が死亡。

【研修の概要】

有害危険物質の海上流出事故を想定し、主に初動対応時の研修を実施するもので、概要は次のとおりです。

- ・ 物質の性状・危険性把握のための知識の習得
海面流出時の挙動、流出物質からの蒸発ガス発生の程度・挙動、引火爆発・人体毒性等危険性の評価 等
- ・ 事故対応資機材の取り扱い
物質や事故の状況に応じた対応資機材の取り扱い 等
- ・ 机上演習、総合演習
 - ・ を踏まえた机上訓練及び実働訓練



【機動防除隊とは】

第三管区海上保安本部横浜機動防除基地に所属する16名(4名4隊)で構成された全国唯一の防除等に関する専門家集団であり、全国各地で発生する海難等により海上に排出された油、有害液体物質、危険物等の防除措置や海上火災に対する消火及び延焼防止措置に関し、現場において技術的な指導・助言を行っています。平時には、事故対応に必要な研修・訓練を行うほか、排出油防除協議会等での講習会の講師を務めるなどして油防除を中心とした海上防災に関する知識の普及に努めています。また、近年国際協力業務として海上防災に関する高度な知識と技術を活用した支援及び教育訓練を東南アジア諸国に対して行っています。



当本部が保有する主な有害危険物質事故対応資機材の概要

【防護装備】

現在、海上保安庁においては、危険度の高い方からA B C Dの4段階に分類し、その危険性に応じて防護装備を選択しています。

レベル A
化学保護服
空気呼吸器

レベル B
半密閉式防護服
空気呼吸器

レベル C
半密閉式防護服
防毒マスク

レベル D
作業服
保護メガネ

呼吸器、皮膚、目の保護が最高度に要求される場合や危険性が不明な場合等

最高レベルの呼吸器保護を要求されるが、ガス濃度が皮膚に害を及ぼさない場合等

危険の内容が解っており、ガス濃度は皮膚に害を及ぼさず、かつ防毒マスクにより呼吸器が保護できる濃度である場合(酸素濃度は18%以上)

特に呼吸器、皮膚、目の保護を必要としない場合(継続濃度監視は必要)



【ガス検知機器】

複合ガス検知器

低濃度可燃性ガス検知器

有毒ガス検知器

【除染シャワーテント】



酸素濃度、可燃性ガス、硫化水素、一酸化炭素の4種類を測定できる

低濃度(ppm)単位で可燃性ガスが測定できる

物質に応じた検知管を使用することによりその物質のガス濃度が測定できる

明石海峡における通航船舶隻数過去5年で最多

～平成25年度明石海峡船舶通航実態調査結果（速報値）～

第五管区海上保安本部では毎年、明石海峡を通航する貨物船やタンカー、旅客船、漁船、プレジャーボートなどの通航実態調査を行っており、平成25年度の調査結果（速報値）は、1日平均851隻（前年比90隻増）で10%以上増加しており、過去5年間で最多の隻数となりました。

今回の調査では、貨物船等、タンカー、旅客船等及び漁船の各船種とも過去5年間でいずれも2位～3位の隻数と、全般的に通航量が多い状況が確認されました。

1 調査概要

(1) 調査日時：平成25年10月29日（火）12：00～31日（木）12：00

(2) 調査場所：神戸市垂水区東舞子町（沖合）

(3) 調査者：第五管区海上保安本部職員・神戸海上保安部職員

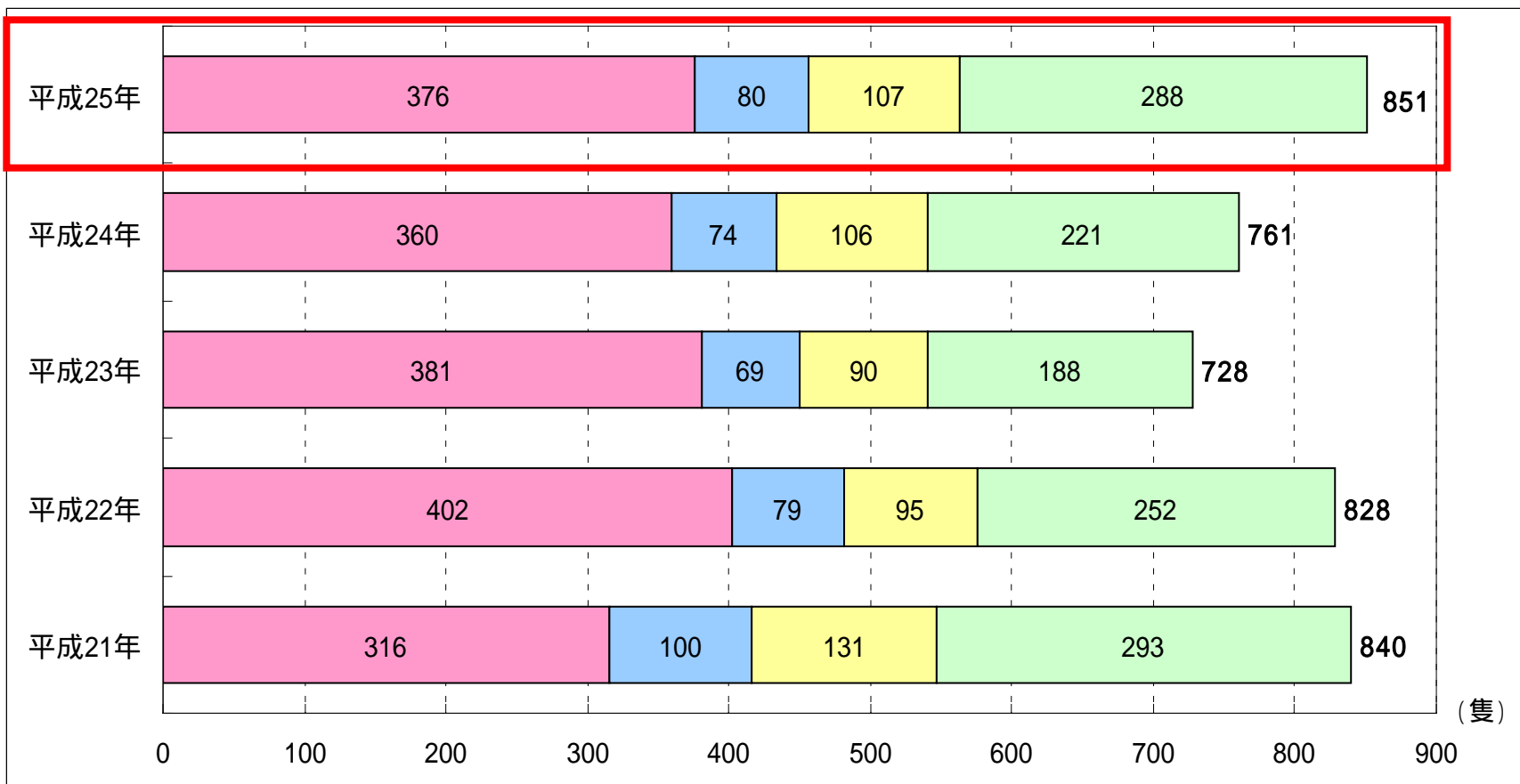
(4) 調査方法：職員による双眼鏡等を使用した目視・48時間連続観測

明石海峡の任意の点を結んだ線上を横切った船舶数を積算

2 調査結果

平成25年度 明石海峡通航船舶実態調査結果(速報値)

< 通航船舶隻数(1日平均) >

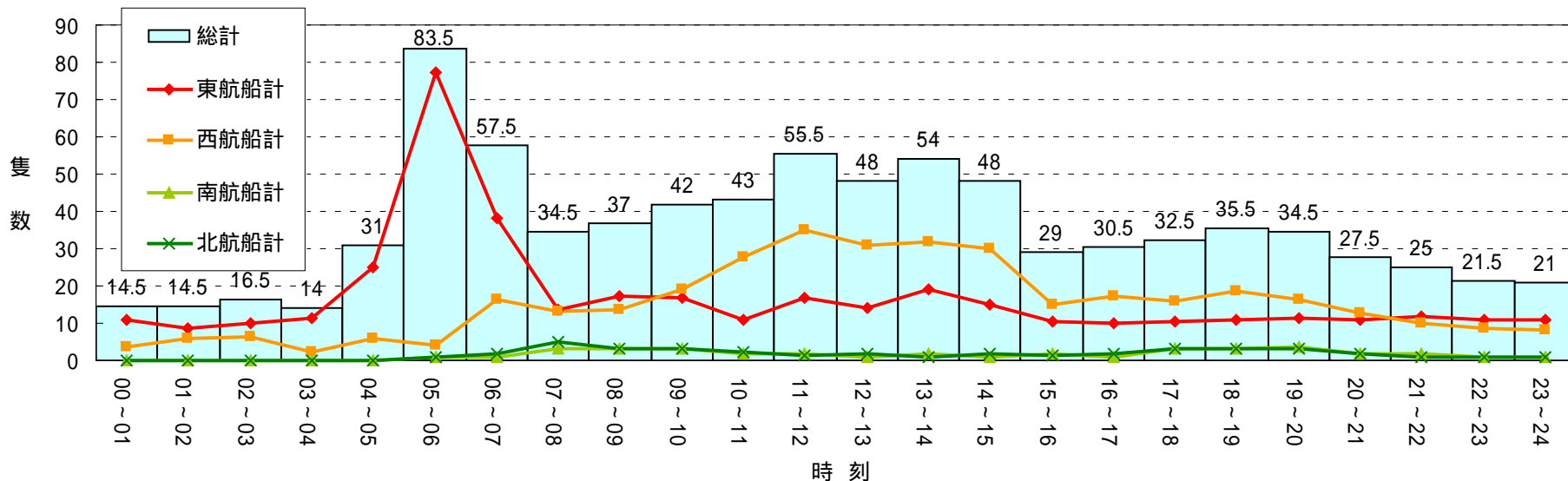


□貨物船等 □タンカー □旅客船等 □漁船

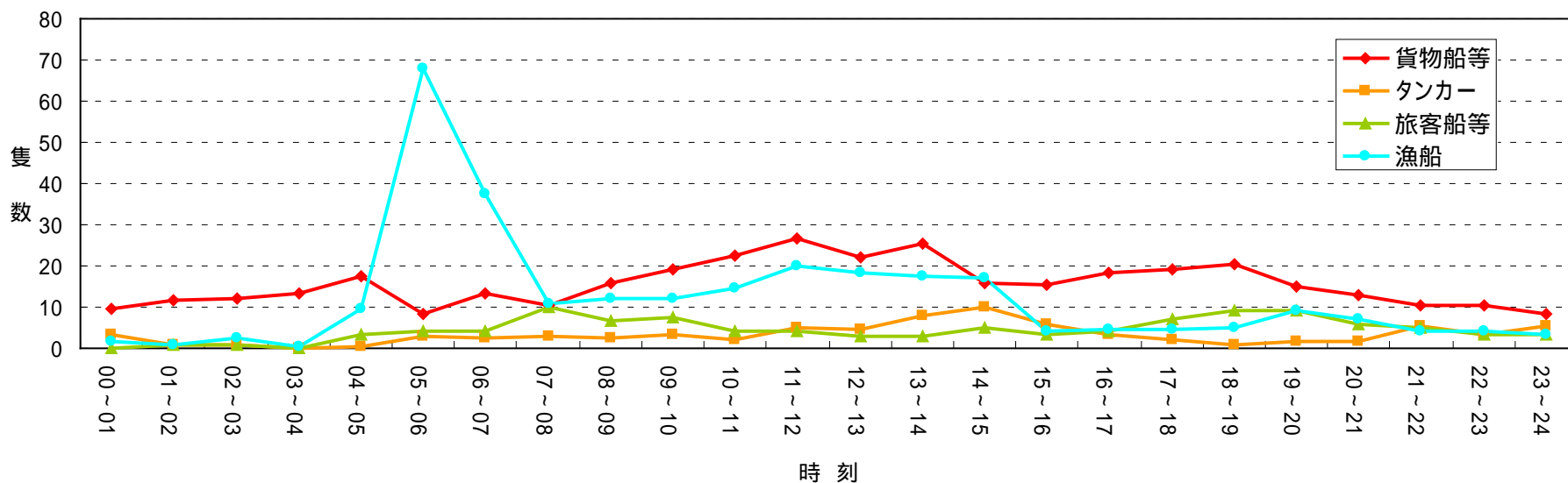
「貨物船等」とは、貨物船、えい航船、押航船及びその他(巡視船、自衛艦、独航えい・押航船等)をいい、「旅客船等」とは旅客船、カーフェリー、水中翼船及びエアクッション船をいう。

平成25年度 明石海峡通航船舶実態調査結果(速報値)

< 方向別・時刻別通航隻数(1日平均) >



< 船種別・時刻別通航隻数(1日平均) >



3 調査のまとめ

- 調査結果 8 5 1 隻の内訳は次のとおり（4 8 時間連続観測の 1 日当たり平均値）。
貨物船等：3 7 6 隻（前年比 1 6 隻増）、タンカー：8 0 隻（同 6 隻増）、旅客船等：
1 0 7 隻（同 1 隻増）、漁船：2 8 8 隻（同 6 7 隻増）
最多となった要因は、貨物船等と漁船の通航が多くなっています。
- 貨物船等、タンカー、旅客船等の一般船舶は、東日本大震災（平成 2 3 年 3 月）の影響で一時的に落ち込んでいましたが、その後回復の兆しが見られています。
- 漁船が増加している顕著な要因は不明ですが、調査時期の漁獲物の種類等によって出漁形態、出漁隻数に毎年差異が認められています。今年は、前年に比べて一本釣漁船の出漁が多く認められています。
- 通航隻数の増加に対し、明石海峡付近の海難の発生は 2 2 隻と昨年同時期と比較して 8 隻の増加、過去 5 年間で 3 番目に多いペースとなっています。
明石海峡付近の海難は、本年 1 1 月末現在衝突が 1 1 隻と全海難の 5 0 % を占め、過去 5 年間でも 4 0 % 以上（4 3 / 1 0 6 隻中）となっています。



職員による調査と通航状況（資料）

第五管区の訪ねたい&訪ねて欲しい灯台トップ10

第五管区海上保安本部では、11月1日の灯台記念日行事の一環として、日本の灯台50選や灯台絵画コンテスト作品展示などを見学された方々を対象に、「あなたが選ぶ第五管区の訪ねたい&訪ねて欲しい灯台」の投票を呼び掛け、第五管区管内の主な灯台18か所のうち投票数上位10か所の灯台が選出されました。

このような取組は、海上保安庁として初めての企画であり、第五管区では選出された10か所の灯台の一般公開などのイベントを通して、海上保安業務の啓発や海難防止活動、地域との連携強化、地域活性化策の一助などに活用していく予定としています。

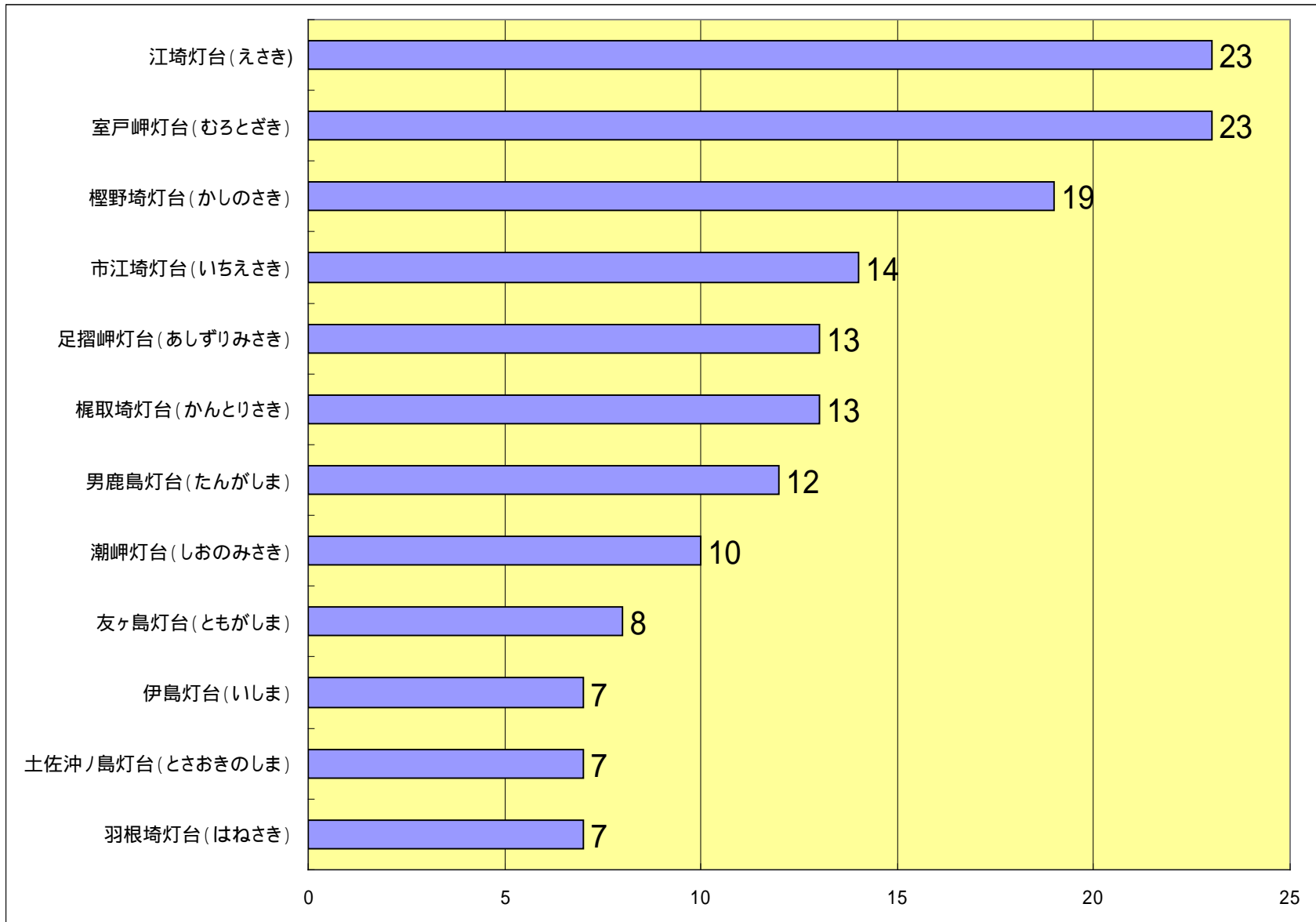
1 概要

- (1) 投票期間：平成25年11月1日(金)～10日(日)
- (2) 投票場所：神戸海洋博物館(神戸市中央区波止場町2-2)
- (3) 対象者：神戸海洋博物館入場者(日本の灯台50選などの展示コーナーに投票所を設置)
- (4) 投票方法：第五管区管内の主な灯台の名称、位置、特徴、写真などを掲示して、投票者が訪ねたい・訪ねて欲しいと思う灯台を一人3か所まで選出して投票

2 投票結果

(1) 投票総数：180票

(2) 投票結果：下図のとおり（上位10か所、同数の表示は50音順）



順位	灯台の名前 (設置点灯年月日)	所在地	特徴など	順位	灯台の名前 (設置点灯年月日)	所在地	特徴など
1	えさき 江崎灯台 (ア) (M4.4.27)	兵庫県 淡路市	・明治期灯台 ・近代化産業遺産 ・阪神淡路大震災で一部被災	7	たながしま 男鹿島灯台(キ) (S34.3.28)	兵庫県 姫路市	・播磨灘を望む絶景の景色
1	むろとざき 室戸岬灯台(イ) (M32.4.1)	高知県 室戸市	・明治期灯台 ・日本一明るい灯台 ・日本の灯台50選 ・近代化産業遺産 ・第二次世界大戦の被弾跡あり	8	しおのみさき 潮岬灯台 (ク) (M6.9.15)	和歌山県 串本町	・明治期灯台 ・石造 ・本州最南端に位置 ・日本の灯台50選 ・近代化産業遺産 ・灯台を一般開放
3	かしのさき 檜野崎灯台(ウ) (M3.6.10)	和歌山県 串本町	・明治期灯台 ・現存する日本最古の灯台 ・エル・トゥールル号事案の舞台	9	ともがしま 友ヶ島灯台(ケ) (M5.6.25)	和歌山県 和歌山市	・明治期灯台 ・近代化産業遺産 ・旧軍の要塞上に建設 ・明治期に建設された付属舎も現存
4	いちえさき 市江崎灯台(エ) (T10.10.1)	和歌山県 白浜町	・管内で最も大きな太陽電池 (25年度整備予定)	10	いしま 伊島灯台 (コ) (S31.4.1)	徳島県 阿南市	・四国最東端 ・紀伊水道を望む絶景の景色 ・灯台に続く道にイシマササユリ
5	あしずりみさき 足摺岬灯台(オ) (T3.4.1)	高知県 土佐清水市	・日本の灯台50選 ・地域発展に願いをこめたロケットをイメージした塔	10	とさおきのしま 土佐沖ノ島灯台 (S8.4.15) (サ)	高知県 宿毛市	・足摺宇和海国立公園
6	かんとりさき 梶取崎灯台(カ) (M32.11.15)	和歌山県 太地町	・灯台頂部の風見鶏が鯨 ・周辺は景色の良い公園	10	はねさき 羽根崎灯台(シ) (S28.5.8)	高知県 室戸市	・室戸阿南海岸国定公園

第五管区 訪ねたい&訪ねて欲しい灯台トップ10



男鹿島灯台(キ)



江崎灯台(ア)



友ヶ島灯台(ケ)



梶取埼灯台(カ)



市江崎灯台(エ)



伊島灯台(コ)



羽根埼灯台(シ)



潮岬灯台(ク)



檜野埼灯台(ウ)



室戸岬灯台(イ)



足摺岬灯台(オ)



土佐沖ノ島灯台(サ)

宮島

伊予半島

土佐湾

瀬戸内海

淡路島

潮山岬